

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月11日に総務生活分科会を開催しました。

議案第39号 平成28年度総社市一般会計予算

～質疑～

問：職員の残業が増え、職員手当の時間外勤務手当が多くなっていないか。

答：時間外手当は平成26年度実績に沿って計上している。年々時間外勤務は増えて職員にも負担が掛かっている。市の安全衛生委員会で産業医等にも確認してもらっている。人事としても見回りなどで把握し、時間外勤務の削減や課内応援の体制ができないかなど注視していきたい。

問：公会計業務委託料が270万円計上されているが、公会計導入の進行状況はどうか。

答：公会計について、総務省から示されている期限が平成29年度である。平成29年度には新しい基準に基づいた財務諸表を作成し、公開することになる。そのためには平成28年度の決算から、そのための会計分けをしていかないといけない。公会計関連予算として、公会計の帳票が処理できるシステムと移行の作業を予算計上している。

問：雪舟くんの車両更新予算について、現行では、満員だと乗降に時間が掛かるということで、定員を減らして走らせている。今回の車両更新でそれが解消されるのか。またラッピング委託料についてはどうか。

答：車両の小型化により、30分運行の最適化を目指すものである。また、既存の車両は5年で約20万キロを走行しており、電気システムの故障等も頻繁に発生しているため、利用者の安全面を最優先に考え、9台の車両を一斉に替えようとしているものである。ラッピングについては、雪舟くんのデザインは浸透しており、利用者の意向も踏まえて議会にも諮ったうえで決定していきたい。

問：通信運搬費の郵券料が随分増えているが、その理由は何か。

答：以前は、市民への通知で重要なものも文書配布業務嘱託員が配っていたが、确实により早く届けるために郵便に切り替えた文書もあり、郵券料が増えている。また、各部署から市民への文書が年々増えているため、郵券料が増えている。

問：定住促進事業補助金200万円の内容はどうか。

答：定住促進事業補助金の相手方は、昭和地区の団体である。活動としては、地域の人と移住希望者をつなぐ役や、空き家の案内、お試し住宅も持っていて、市の良さを知ってもらうよう定住促進に取り組んでいる。また、セミナーを随時に開催しており、この団体の活動を通じて、多くの人々が昭和地区に移住してきている。

問：美術博物館施設整備事業基金積立金が約2,000万円計上されている。基金残高が約4,000万円となるが、建設には恐らく25億円といった金額が必要になると思う。2,000万円では、いつできるかということになるが、今後どのように積み立てていくか。

答：平成 26 年に美術博物館の基金を設置して、平成 26 年度、平成 27 年度に各 1,000 万円ずつ積み立てていて、平成 28 年度は約 2,000 万円を積み立てる予定としている。決算次第で積み増しを検討していきたい。

問：市庁舎移転経費について、こども関係部署などの移転はいつか。

答：移転に関する経費は、工事請負費が 1,000 万円、修繕料が 500 万円、電話の移設等が 500 万円で、合計 2,000 万円である。時期は西庁舎の玄関周辺を整えてから、平成 28 年度の前半までには移転したい。

問：消防施設費の工事請負費 3,300 万円について、女性の職員の仮眠室を作るということだが、今後の女性職員の採用予定はどうか

答：5 人程度を目標として、今後の採用を考えていきたい。

問：臨時財政対策債について、前年に比べると 9,000 万円減っている。臨時財政対策債を減らして、財政調整基金の取り崩しを増やしているということなのか。

答：臨時財政対策債は、財源などの都合で国の交付税が交付されない場合に、それぞれの自治体が借り入れて財源にしようとするものである。臨時財政対策債は借入の上限額を国から示され、平成 28 年度の見込みは、平成 27 年度に比べると 9,000 万円の減額となっている。財政調整基金の取り崩しは、その減額分の代わりということではなく、最終的に全体予算を調整したものである。